



RHOMBUS WORKS [JAGGED]

野老朝雄, 2020, タイル, 1辺100mm

撮影: 梶原敏英

Asao Tokolo, 2020, Tile, 1 side=100mm

Photo: Toshihide Kajihara

DISCONNECT / CONNECT

[ASAO TOKOLO × NOIZI] 幾何学紋様の律動、タイリングの宇宙
RHYTHMS OF GEOMETRIC PATTERNING: A COSMOS OF TILING
2021.04.24 [SAT] - 10.12 [TUE]



INAX ライブミュージアム

INAXライブミュージアムはLIXILが運営する文化施設です。

*感染症拡大防止のため、会期、関連イベントの内容等を変更する場合があります。
<https://livingculture.lixil.com/ilm/>



DISCONNECT/CONNECT

[ASAO TOKOLO×NOIZ] 幾何学紋様の律動、タイリングの宇宙
RHYTHMS OF GEOMETRIC PATTERNING: A COSMOS OF TILING
2021. 04.24 [SAT]-10.12 [TUE]

会場: INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室

- 開館時間: 10:00am ~ 5:00pm (入館は4:30pmまで)
- 休館日: 水曜日(祝日の場合は開館)
- 共通入館料: 一般: 700円、高・大学生: 500円、小・中学生: 250円 (税込、各種割引あり)
- 会期中、一部展示作品を入れ替える場合がございます。
- 感染症拡大防止対策について
- マスクの着用、検温にご協力ください。
- 当館での新型コロナウイルス感染症拡大防止策についてはホームページをご覧ください。

昨夏コロナ禍において、実展示からオンラインでの展覧会に転じたLIXILギャラリーの「CONNECT/ DISCONNECT [ASAO TOKOLO×NOIZ]」。このたび、美術家の野老朝雄と建築デザイン事務所 (noiz) が再びタグを組み、当館の土で囲まれた実空間で展覧会を実現させます。紋様の創作をとおして多種多様な関係性を築こうとする野老のテーマ「つなげる」から名づけられたオンライン展のタイトルは、コロナ禍で一旦途切れたものの、再びつなげるとし、今展では語順を逆転させています。

野老の作品といえば、東京2020オリンピック・パラリンピックのエンブレムのデザインが広く知られています。彼は、シンプルな図形で平面を隙間なく埋め尽くす「タイリング」の世界で、幾何学による無限の連続性やさまざまな展開性を特徴とする野老紋様を数多く生み出してきました。

本展では、この野老紋様が建築素材である「タイル」と結びつけられます。デザインの可能性を飛躍的に高める「コンピューショナル・デザイン」の分野で建築界をリードするnoizとともに、両者が野老紋様のタイルを纏った造形をつくりあげます。noizが手がける展示空間では、野老紋様独特のパターンやルールを活かしたタイルが多彩に展開されます。プログラミングにより生成した映像や音も織り込まれたダイナミックな環境で、まるで生きているかのように振舞う紋様とタイリングの妙、常滑の当館でしか体験できない美をお楽しみください。

*(2020年9月閉館)



野老朝雄 Asao TOKOLO

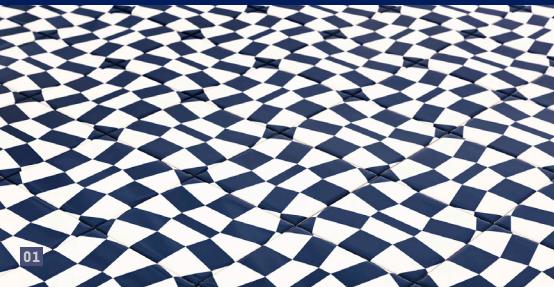
1969年、東京都生まれ。幼少時より建築を学び、大学卒業後、建築家/美術家の江頭慎に師事。2001年9月11日より「つなげる」をテーマに紋様の制作を始め、美術・建築・デザインなど、分野の境界を跨ぐ活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作をするほか、同様の原理を応用した立体物の設計/制作も行なっている。主な作品に、東京2020オリンピック・パラリンピックのエンブレムに採用された(組市松紋)、大手町パークビルディングのための屋外彫刻作品(TOWER OF CONNECT)、(PPP TOKOLO PATTERN MAGNET)などがある。



noiz

2007年に豊田啓介と蔡佳萱のパートナーシップとして設立。2016年より酒井康介を加えた3名パートナー体制で、東京、台北、ワルシャワ(ヨーロッパ)からコンピューショナルな手法を駆使し、建築を軸にインスタレーションから都市まで幅広いジャンルで国際的に活動する建築・デザイン事務所。最新のデジタル技術を駆使した各種デザインや製作、システムの実装から教育、各種リサーチ & コンサルティング活動も積極的に展開している。

<https://noizarchitects.com/>



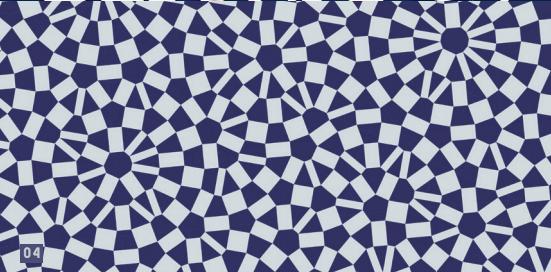
01



02



03



04

01 HARMONIZED CHEQUERED PATTERN

野老朝雄, 2020, タイル, 撮影: 梶原敏英
Asao Tokolo, 2020, Tile, Photo: Toshihide Kajihara
*会期中入れ替え、展示予定

03 STEPS (本展会場イメージより。提供: noiz)

パターンデザイン: 野老朝雄、造形デザイン: noiz
Exhibition space image, provided by noiz
Pattern Design: Asao Tokolo, Modeling Design: noiz

● オンライン・オープニングトーク

登壇者: 野老朝雄(美術家)、豊田啓介(建築家、noiz)

開催日時: 2021年4月24日(土) 17:00-18:30

*詳細、お申し込み方法、およびその他のイベントについては

当館ホームページをご覧ください。

<https://livingculture.lixil.com/liv/>

Last summer, the "CONNECT/DISCONNECT | ASAO TOKOLO×noiz" exhibition at LIXIL Gallery (which closed permanently in September 2020) was converted to an online exhibition due to the coronavirus pandemic. Now, artist Asao Tokolo and the architectural design studio noiz have teamed up again for an exhibition at INAX Museums in a real space enclosed by clay walls. Like the online show, this one takes its title from Tokolo's theme of "connecting," which he expresses through the creation of kaleidoscopic patterns that represent all manner of relationships. This time, however, the exhibition title reverses the order of the words DISCONNECT and CONNECT to celebrate the revival of connections temporarily severed by the pandemic.

Asao Tokolo is widely known for his design of the emblems for the Tokyo 2020 Olympics and Paralympics. Using the tiling technique to cover flat surfaces with simple geometric forms that intertwine in a myriad variations and seem to stretch into infinity, he has created a universe of distinctive "Tokolo Patterns."

This exhibition features Tokolo Patterns made of actual tile, a common element of architecture. A leader in the use of computational design to dramatically expand design frontiers, noiz has collaborated with the artist to produce works covered with ceramic tiles based on Tokolo's original patterns and rules. The variegated tile surfaces fill an exhibit space designed by noiz. Amid a dynamic environment of program-generated imagery and sound, these patterns dance and pulse like living organisms. Don't miss a unique opportunity to experience the magic of tiling firsthand, only at INAX Museums in Tokoname.

02 INTERTWINED

野老朝雄, 2020, タイル, 撮影: 梶原敏英
Asao Tokolo, 2020, Tile, Photo: Toshihide Kajihara

04 CONNECT/DISCONNECT MOVIE

パターンデザイン: 野老朝雄, 監督: noiz,
監修: 野老朝雄, noiz
紋様制作: 野老朝雄
展示デザイン: noiz
ウィジュアルプログラミング: 白木 良
音楽: 原厚利彦
グラフィック: 小水史理
タイトル制作: LIXILもぐづくり工房
協力: ニデレイマクネット株式会社

主催: INAXライブミュージアム

監修: 野老朝雄, noiz

紋様制作: 野老朝雄

展示デザイン: noiz

ウィジュアルプログラミング: 白木 良

音楽: 原厚利彦

グラフィック: 小水史理

タイトル制作: LIXILもぐづくり工房

協力: ニデレイマクネット株式会社

INAXライブミュージアムへのアクセス

- バス
- 名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より
 - 知多バス「知多半田駅」行き
 - 「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分
- お車(乗用車・バス駐車場完備)
- 名鉄線「常滑駅」より約6分
 - 中部国際空港より約10分(「りんくう」C)乗り
 - セントレライン(名古屋方面から)「常滑IC」より約7分
 - 知多半島道路「半田IC」より約15分



INAXライブミュージアム
〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL: 0569-34-8282 FAX: 0569-34-8283

